

# PRESS RELEASE

■本資料は、福山市政記者クラブで配布しております。

2019年12月13日

報道関係各位

社会医療法人 祥和会  
脳神経センター大田記念病院

一般社団法人 日本脊髄外科学会  
広報委員会

脳神経センター大田記念病院 ・ 一般社団法人 日本脊髄外科学会 共催

市民公開講座

## 人生100年時代を生き抜く 今から始める背骨ケア 開催のお知らせ

2020年2月15日(土) 県民文化センターふくやま

社会医療法人祥和会(理事長:大田泰正)の中核的医療施設である脳神経センター大田記念病院(院長:郡山達男、所在地:福山市沖野上町)では、一般社団法人 日本脊髄外科学会 広報委員会(委員長:佐々木 学)と共催で、来る2020年2月15日(土)に、市民公開講座「人生100年時代を生き抜く 今から始める背骨ケア」を開催いたします。日本脊髄外科学会が、学術集会とは別に、中核市にある病院と共催で「市民公開講座」を行うことは、中国地方では初めてです。

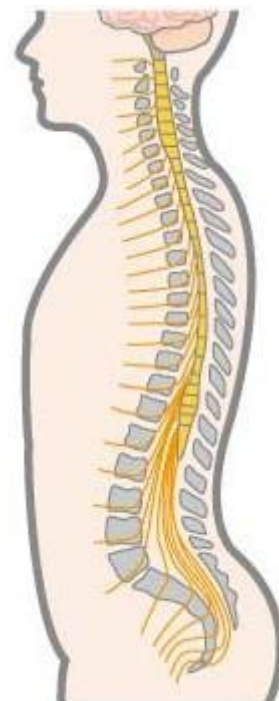
### ■背骨ケアとは？

「背骨」は、①体幹(胴体)を支持し、②体幹(胴体)を動かす働きと、③脊柱管内の脊髄・神経を保護する、人間の身体の中心となる大切なものです。

背骨の中を貫く「脊髄・神経」は①手足の筋肉を動かす働き、②手足の感覚を伝える働き、③膀胱や直腸などの内臓の働きを調節する働きを持ち、身体を動かすための神経が集中しています。

日本人の平均寿命が伸び続け、人生100年の時代が到来すると言われていますが、人生の最期を迎える直前まで、自らの足で歩き、寝たきりにならないようにするには、背骨の機能をできるだけ正常に保つ必要があります。

骨そのものを強く保ち、日頃から身体を動かすことで筋力を保ち、身体が前かがみになることがないよう、正しい姿勢を維持するとともに、万が一、骨折を起こしたり、しびれや痛みがあるときは、速やかな治療を行う「背骨ケア」が重要です。



■「背骨ケア」を市民の皆さんに広めるために公開講座を開催します。

～「催しものガイド」への掲載に、ぜひ、ご協力ください～

「背骨ケア」の考え方や、最新の脊椎脊髄外科の医療を、最前線を支える医師3人がお話します。脊椎脊髄に関する講演会は、地方都市では珍しく、またとない機会です。ぜひ、ご聴講いただきたいと存じます。

【開催要項】

とき / 2020年2月15日(土) 14:00～16:00 [受付開始]

ところ / 広島県民文化センターふくやま 文化交流室[地下1階]  
福山市東桜町1-21

総合テーマ / 人生100年時代を生き抜く 今から始める背骨ケア

挨拶	■社会医療法人祥和会 脳神経センター大田記念病院 院長 郡山達男	
	<b>講師と演題</b>	<b>講師プロフィール</b>
講演1	<p>■亀田総合病院 脊椎脊髄外科 部長 久保田 基夫(くぼた・もとお) 医師</p> <p>「ちょっとためになる骨粗鬆症と椎体骨折の話」</p>	<p>1982年、千葉大学医学部卒。千葉大学医学部附属病院入職。脳神経外科学教室入局。以後、川鉄千葉病院、千葉労災病院、千葉県救急医療センター、千葉大学医学部附属病院勤務を経て、1998年、独・ゲッティンゲン大学留学。2005年、千葉大学附属病院講師。2006年、亀田総合病院・脳神経外科部長、2007年、同院・脊椎脊髄外科部長に就任。</p> <p>日本脊髄外科学会指導医、日本脳神経外科学会専門医、医学博士。</p>
講演2	<p>■岡山大学病院 脳神経外科 講師 安原 隆雄(やすはら・たかお) 医師</p> <p>「脊椎脊髄疾患の診断と治療 ～しびれと痛みを考える」</p>	<p>1998年、岡山大学医学部卒。岡山大学医学部脳神経外科学教室入局。岡山大学病院、香川労災病院で臨床研修ののち、同大学院 神経病態外科学に進学、博士課程修了。2005年から2年間、米・ジョージア医科大学へ研究留学。2007年より、岡山大学病院 脳神経外科勤務。2014年より講師。</p> <p>日本脊髄外科学会認定専門医・指導医、日本脳神経外科学会認定専門医・指導医、日本脳卒中学会認定専門医・指導医、医学博士。</p>
講演3	<p>■脳神経センター大田記念病院 脊椎脊髄外科 部長 大隣 辰哉(おおとなり・たつや) 医師</p> <p>「背骨ケアはなぜ必要？」</p>	<p>2000年、産業医科大学医学部卒。同大・脳神経外科学教室入局。2006年より脳神経センター大田記念病院脊椎脊髄外科勤務。脳神経外科診療にも携わる。2019年、医局長 兼 中央手術部長、ならびに脊椎脊髄外科部長就任。</p> <p>日本脳神経外科学会指導医、日本脊髄外科学会指導医、医学博士。</p>
挨拶	■日本脊髄外科学会代議員・学術委員会委員 安原 隆雄	

## ■申し込み方法

**対象** / 福山市周辺にお住まいの市民の皆さま

**定員** / 100名様 [申し込み先着順]

**参加費** / 無料

**申し込み方法** / ①お名前(フリガナ) ②電話番号(連絡先) をご記入の上、

(1)はがき・・・〒720-0825 福山市沖野上町 3-6-28  
脳神経センター大田記念病院 地域医療連携室「市民公開講座」係 宛

(2)ファックス・・・FAX 084-928-2769  
脳神経センター大田記念病院 地域医療連携室「市民公開講座」係 宛

(3)また、社会医療法人祥和会ホームページの  
トピックス欄からお申し込み可能です。  
<https://www.shouwa.or.jp/>

専用フォーム  
QRコード



※先着順のため、100名様になるまで、お申し込みをいただいた方に連絡をいたしません。連絡がない方は、「お申し込み完了」であり、当日、そのまま会場へ起こしてください。

※定員が100名様を超えた場合は、脳神経センター大田記念病院より、お断りの電話をいたします。

**申し込み期限** / 2020年2月8日(土)

## ■留意事項

▼事前にご連絡をいただいた場合、報道関係の皆さまのための専用席を設けます。下記、広報までご連絡ください。

### ■本件についてのお問い合わせ

#### ①参加申し込み、参加方法についてのお問い合わせ

脳神経センター大田記念病院 地域医療連携室  
担当:市民公開講座係  
電話 084-931-8650(病院代表)

#### ②報道機関のみなさまからのお問い合わせ

社会医療法人祥和会  
広報コミュニケーショングループ  
担当:島津 英昌・横山晋一郎  
☎ 084-975-3909 [広報直通]

## 【参考】

### ①一般社団法人 日本脊髄外科学会 概要

- 日本脊髄外科学会は、脊椎・脊髄・末梢神経外科に携わる脳神経外科医師が中心となり、学術交流による研鑽をめざして1986年に発足しました。
- 日本脳神経外科学会公認の関連学会として、2019年現在、会員数は1,200名を超え、登録訓練施設は全国に51病院あります。
- 主な活動として、年次学術総会の開催、認定医・指導医制度の運営、学術機関誌の発行などとともに、ホームページなどでの疾患や治療の解説、市民公開講座などを行っております。これらを通して会員の知識・技量を高め、より良い診療で患者さんの福祉に貢献できるよう努めております。

会員数	1282名(正会員 1268名・名誉会員 14名)	
認定数	脊髄外科認定医	472名
	脊髄外科指導医	130名(内、8人名誉指導医)
	訓練施設	51施設

### ②脳神経センター大田記念病院 概要

- 脳神経センター大田記念病院は、1976年の開院以来、脳血管障害、脳神経疾患の専門性の高い医療に取り組んでまいりました。近年は、脳血管障害の原因となる動脈硬化に関する循環器疾患にも対応しております。
- そして、脳神経外科医、神経内科医、整形外科医がチームを組み、脊椎・脊髄疾患の治療・手術を行っております。
- また、脳卒中の予後に関わるリハビリテーションの充実に努め、「365日リハ」「超早期リハ」を実践。2018年には「回復期リハビリテーション病棟」を開設しました。

病床数	213床
外来診療科目	脳神経外科・脳神経内科・脊椎脊髄外科・循環器内科・外科・整形外科・救急科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・内科(非常勤)・形成外科(非常勤)・小児神経科(非常勤)・歯科(紹介・入院のみ)・皮膚科(入院のみ)・泌尿器科(紹介のみ)
所在地	広島県福山市沖野上町 3-6-28